

2023年採用新卒看護師「6か月たちました」

2階1病棟 回復期リハビリテーション病棟
山本 ひよりさん
(札幌市立大学看護学部看護学科卒)

1. 看護師を目指した動機

弟が生まれた時に、看護師や助産師の仕事の様子をみて、どちらかになりたいと思いました。今は、看護師になれてよかったと思っています。

2. 愛全病院に決めた理由

老年看護に興味がありました。
4年生の時にゼミの先生から「1年生の時から老年看護に向いていると思っていた」と話され、愛全病院を進められました。
愛全病院は、南区の地域に密着した病院であることや地域に戻るための看護、リハビリテーションをしているのを知り、働きたいと思いました。

3. 仕事で嬉しかったこと

患者さんと関わるうえで、特にコミュニケーションを意識し大切にしてきました。
患者さんが名前を覚えてくれたことや「山本さんが関わってくれてよかった」「来てくれてよかった」と言われたことが嬉しかったです。

4. 愛全病院に勤めてichibanよかったこと

基礎研修が入職後に集中して行われることで、研修で学んだことを配属部署で実施することができました。その後も1か月に1回くらい研修があるので、息抜きになったり、看護技術を学ぶことができたので良かったと思います。

先輩たちは優しく、親身になって教えてくれるので、仕事に来るのが苦になることはありません。働きやすい環境で良かったです。



指導者とピース

5. 愛全病院で一緒に働きましょう

学生の頃はコロナ禍で実習が少なく、現場のイメージが付きませんでした。実際に働くと忙しく感じますが、教育体制は充実し、プリセプターは親身に相談に乗ってくれ、サポートをしてくれます。職場環境も良く、高齢者の看護に興味がある方は、とても勉強になると思います。愛全病院で一緒に働きましょう。

2023年採用新卒看護師 6か月の今

3階1病棟 医療療養病棟
塩原 彩乃さん
(北海道看護専門学校卒)

1. 看護師を目指した動機

祖母が看護師で小さい頃から興味がありました。子どもの頃、風邪のため外来受診をする機会が多ったのですが、看護師さんが優しく接してくれました。とくに笑顔が素敵な看護師さんがいて、こんな看護師さんになりたいと思いました。

2. 愛全病院に決めた理由

高齢者の方がすごく好きです。田舎で育ち、学校の行き帰りに、おじいちゃんやおばあちゃんが「行ってらっしゃい」「お帰り」と声をかけてくれる中で育ちました。それで看護師になって高齢者に関わる仕事をしたいと思っていました。学生の時、愛全病院で実習をした際に、環境が良いと思ったので就職を決めました。

3. 仕事で嬉しかったこと

少しずつですが出来ることが増えていることが嬉しいです。私は、コミュニケーションが得意ではなかったのですが、コミュニケーションの方法がわかり患者さんとの距離が近づき、患者さんから「あなたがいてくれて良かった」「信頼できるね」と言われることが多く、嬉しく感じています。



プリセプターと一緒に

4. 愛全病院に勤めてichibanよかったこと

教育体制はプリセプターシップです。プリセプターが不在の時は看護主任や他の先輩看護師がサポートをしてくれます。教育体制がしっかりしているところが良いと思います。残業がなく、仕事が終わったら気兼ねなく帰ることができるような雰囲気、働きやすいです。

5. 愛全病院で一緒に働きましょう

優しい看護師がたくさんいて、困った事はすぐ相談できる環境です。挨拶を大切にし、笑顔のある病院です。高齢者が好きな方は、ぜひ一緒に働きましょう。来てください。

2023年採用新卒看護師 6か月の今

2階3病棟 障害者施設等一般病棟
野本 花那さん
(旭川大学保健福祉学部保健看護学科卒)

1. 看護師を目指した動機

祖父母と一緒に暮らしていて、高齢者が身近にいる環境で育ちました。年齢を重ね祖父母が施設に入り、入院することになりました。入院中、コロナ禍で面会ができなくなった時、電話で看護師から日々の様子やバイタル等の状況を伝えてもらったことで、安心を得ることができました。家族が病院に行くことができなくても看護師は家族に寄り添ってくれると思い、看護師になろうと思いました。

2. 愛全病院に決めた理由

祖父母が入院したことで看護師を目指しました。高齢者が病院で療養すると言えば慢性期ですし、展開の早い急性期で元気になって退院する患者さんを看るより、不可逆的に経過する人とどうやって向き合って援助していくかに興味と関心があったので選択しました。

3. 仕事をして嬉しかったこと

自分である程度動くことができる患者さんが、楽だからとおむつで排尿をされていました。トイレでの排泄を考え、看護計画にリハビリパンツを進める内容を加えました。リハビリパンツを使用することで患者さんにプラスになることを伝えていく中で「いいかもしれないね」と話され、ちょっと嬉しかったです。リハビリパンツを使用することでADL向上のきっかけになればいいなと思いました。



4. 愛全病院に勤めて ichibanよかったこと

優しくて、聞きやすい雰囲気があります。なんでも質問することができて、その日のうちに解決できます。私の考えをしっかりと聴き、主体的にできるよう支援してくれるのが嬉しいです。



看護科長と一緒に

5. 愛全病院で 一緒に働きましょう

教育体制がしっかりしており、研修は事前学習ができるように早めに案内がされ、学習時間も十分にとることができます。研修の学びは看護科長・看護主任・プリセプターと共有し支援を得ることができます。プリセプターは部署内に教育計画の到達状況や支援体制を伝えてくれるので、プリセプターが不在でも統一した支援を得ることができます。愛全病院のいいところだと思います。慢性期病院で頑張りたい方は、愛全病院と一緒に働きましょう。

2023年採用新卒看護師 6か月の今

3階2病棟 医療療養病棟
平田 大介さん
(日本医療大学保健医療学部看護学科卒)

1. 看護師を目指した動機

看護師をしている家族の話を聞くうちに患者さんに接することや、医療に携わることで自分のまごころや優しさが育てられると思い看護師を目指しました。

2. 愛全病院に決めた理由

慢性期病院で働きたいと思い病院説明会に参加しました。また愛全病院で勤務している友人からスタッフや病棟の雰囲気がいいと聞いて決めました。「雰囲気いいよ」と聞いたことが一番大きい理由です。実際に働いている人の話を聞けるのが一番です。

3. 仕事をして嬉しかったこと

自己学習が追い付かなくて、もう少し努力が必要と思っています。学生の時と違って、部屋を受け持つようになり、受け持つ患者数が増え、やりがいを感じます。

個別性のある援助を考えることは大変ですが、個別性を知るために関わることで、それぞれの患者さんの趣味や関心のあることを知ることができて嬉しいです。



プリセプターと一緒に

4. 愛全病院に勤めてichibanよかったこと

上司や先輩が優しく本当に助かっています。「良かったなー」と思っています。職場の雰囲気の良さを実感しています。

5. 愛全病院で一緒に働きましょう

たくさんの病院があって、迷うと思いますが、愛全病院は、優しい先輩が多くいます。そして優しいだけではなく成長を促すサポートを受けることができます。ぜひ、愛全病院に来てください。

2023年採用新卒看護師 6か月の今

4階1病棟 医療療養病棟
角田 遥さん
(三草会札幌看護専門学校卒)

1. 看護師を目指した動機

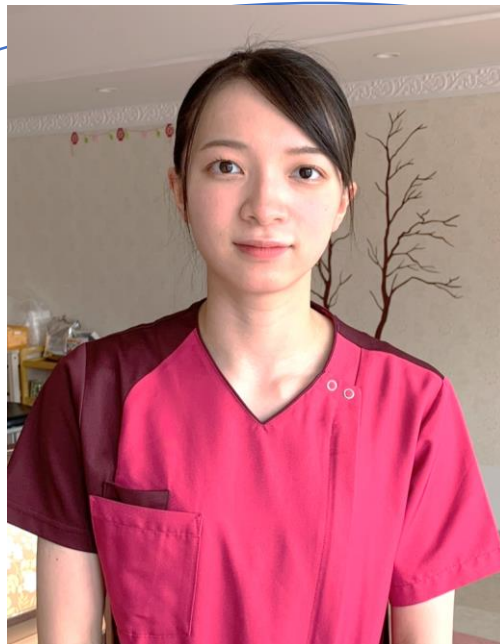
祖母が看護師、祖父が医療関係者で、看護師という職業を身近に感じられる環境にあり、看護師を目指しました。以前入院した経験があり、不安がありましたが看護師さんが優しく接してくれたことで不安が和らぎ、看護師に興味を持ちました。

2. 愛全病院に決めた理由

愛全病院には学生の時、実習に来ました。車椅子移乗や食事介助の場面で、看護師やリハビリテーション職員、介護福祉士が協働しているのを見て、愛全病院は多職種連携がより身近に感じられると思い決めました。

3. 仕事をして嬉しかったこと

ナースコールで病室に伺い、患者さんの話を聞いている時に「あなたはしっかり話を聞いてくれるね」といわれたのが嬉しかったです。また、病院のふれあい祭の際に、久しぶりにご家族と会われた患者さんが、ご家族と会われた後から痰が少なくなりサクシンの回数が減り、気持ちが前向きになられたようで、患者さんの変化が嬉しかったです。



指導者と一緒に

4. 愛全病院に勤めてichibanよかったこと

慢性期病院なので、急性期に比べて一人の患者さんに長期的に関わることができるので良かったと思いました。急性期に勤めた同期は、新しく覚えることがどんどん増えて大変だと言っていました。

5. 愛全病院で一緒に働きましょう

実習だったり、就活だったり、国家試験の勉強など大変な時期だと思います。自分を信じて頑張ってください。応援しています。一緒に働きましょう。

2023年採用新卒看護師 6か月の今

5階2病棟 障害者施設等一般病棟
渡辺 嘉子さん
(砂川市立病院付属看護専門学校卒)

1. 看護師を目指した動機

高校生の時に進路を選択するとき、人の役に立つ仕事をしたいと思いました。看護師にあこがれ、オープンキャンパスに参加し、学びたいという思いが強くなりました。

2. 愛全病院に決めた理由

急性期の流れは自分には早すぎると思っていました。担任に相談したところ、愛全病院は療養型の病院で、教育体制もしっかりしている病院で、私に向いていると勧められました。

3. 仕事をして嬉しかったこと

長い期間患者さんと関わって、患者さんのことがわかり、患者さんに合わせたケアができることが嬉しいです。車椅子移乗の際など、いろいろ考えて対応できるようになりました。サクションや経管栄養の手技など一人で出来るが増えるのが嬉しいです。また、患者さんから「あなたが来てくれていつも助かっているよ」と言われたことが嬉しかったです。



指導者と一緒

4. 愛全病院に勤めてichibanよかったこと

定時で帰宅でき、働きやすくて良かったです。愛全病院は、患者さん一人ひとりをしっかり看ることができています。4月に入職した同期にも恵まれて、困ったり悩んだりしたとき相談ができます。先輩も優しい方々がいるので、わからない事や困った事などが話しやすく心強いです。

5. 愛全病院で一緒に働きましょう

急性期か慢性期かで迷うと思いますが、自分のペースで学びたい人には、ぴったりなところですよ。一緒に働きましょう。

2023年採用新卒看護師 6か月の今

5階1病棟 障害者施設等一般病棟
福井 勝也さん
(札幌保健医療大学保健医療学部看護学科卒)

1. 看護師を目指した動機

母親が看護師で、仕事を聞いたり、幼いころ職場に遊びに行かせてもらったりして、だんだん看護師を目指すようになりました。一番明確に思ったのは、祖母が高校生の時に入院し、看護師さんが優しく接してくれた時に目指そうと思いました。

2. 愛全病院に決めた理由

実習の際に慢性期は患者さんと関わる時間が多いと思いました。自分は、患者さんと長期的に関わり、患者さんの変化をみて、看護を行いたいと思います。先輩が愛全病院に勤めていて、職場環境がいいと話を聞き決めました。

3. 仕事をして嬉しかったこと

ストーマの患者さんが、便の性状によりフランジが溶けやすく、皮膚のただれがあり週3回フランジ交換をしていました。観察をしていくうちに、ストーマからの便の性状が正常で少なくなり、便が漏れることが少なくなったことがわかりました。フランジ交換を減らすことができ、減らすことで経済的にも患者さんの負担を減らすことができると考え、リーダーに相談しました。その後、カンファレンスを行い、フランジ交換が週2回の交換になりケアプランに反映されました。自分の観察したことや考えがケアプランに繋がって患者さんの安楽につながったことが嬉しかったです。



指導者と一緒

4. 愛全病院に勤めてichibanよかったこと

指導は、わかりやすく丁寧な指導を受けられたことが良かったです。看護技術は、まず集合研修で学び、次に部署で先輩の技術を見学する。そして自分で実践することで段階的に学ぶことができます。自分の経験したことや、わからないことは質問しやすい職場環境です。チームの一員としての実感を感じ、働きやすい環境で頑張ることができています。

5. 愛全病院で一緒に働きましょう

教育体制がしっかりしています。病棟の人たちも優しく、よい環境です。1年目はストレスがかかり病んでしまうことがあると聞きますが、そんなことはなく、働きやすい環境です。

次ページに、日勤と夜勤の流れを紹介しています

日勤・夜勤の流れを紹介します

〔日勤〕

8：45 勤務スタート

午前 朝の送り

オムツ交換

担当患者さんの状態観察やケアの実施

リーダー看護師へ報告

昼食の配膳・食事の介助・下膳 患者さんの体位を整える



休憩

午後 経管栄養の準備

患者さんの状態確認（バイタルサインの測定）やケアなど

カンファレンス

16:45 夜勤者への申し送り

看護記録の入力（夜勤者への申し送り前後）



17：15 勤務終了

〔夜勤〕

16：45 勤務スタート

夜勤ミーティング

夕食配膳・下膳

バイタル測定・与薬

オムツ交換

消灯（食事休憩）

22：00ラウンド

23：00バイタル測定

休憩（仮眠）

バイタル測定・尿量確認

経管栄養

血糖測定・食事準備など

朝食配膳・配薬

最終ラウンド

8：45 日勤リーダーへ申し送り

翌9：00 勤務終了



2023年採用新卒看護師 6か月の今

2階2病棟 障害者施設等一般病棟
鄭 利鋭さん

1. 看護師を目指した動機

親戚や両親から看護師を勧められ、私も人の病気を治すことや看護・介護をして患者さんが退院していくことが嬉しいです。健康の回復を助けることは、意味があると思いました。



看護主任と一緒に

2. 愛全病院に決めた理由

日本の文化、アニメ、映画などを見ていて日本に興味がありました。大学生の時、日本で働く看護師の講座を聞きました。自分が日本に行くなんてと思っていましたが、講座を聞き、日本の医療のシステム、文化を体験したいと思いました。

愛全病院を選んだきっかけは、日本の医療機関の説明を聞き、北海道の雪が好きで北海道の病院に行こうと思いました。中国も高齢化が問題で、愛全病院は高齢者が多いので、勉強したいと思いました。何年後かに中国に帰った際に、愛全病院で学んだことを教えることができると思いました。

3. 仕事をして嬉しかったこと

一番嬉しかったことは、患者さんにケアをした後に、患者さんから感謝された時が嬉しかったです。もっと頑張ろうと思いました。また、患者さんの希望に沿って対応することで、「ありがとう」と言われたことが嬉しかったです。

4. 愛全病院に勤めてichibanよかったこと

医師、看護師だけでなく、リハビリテーション職員と一緒に働いているのが初めての経験です。患者さんの回復のために、チームで一緒に頑張ることが素晴らしいです。チーム医療が嬉しいです。

5. 愛全病院で一緒に働きましょう

高齢者の知識、介護の知識を勉強したいならここが一番だと思います。

2023年採用新卒看護師 6か月の今

5階2病棟 障害者施設等一般病棟
劉 舒文さん

1. 看護師を目指した動機

子どもの頃、病院に行ったとき、きれいな環境で、同じ制服を着て働いている姿をみて、将来看護師になりたいと思いました。
高校3年生の時に将来に迷ったときに、看護師の叔母と話したことが、看護師の学校に行くきっかけになりました。

2. 愛全病院に決めた理由

日本に来ようと思ったのは、日本の看護サービスが世界でレベルが高いことです。大学で日本語と英語の選択肢があり日本語を選びました。愛全病院を選択したのは、中国で愛全病院の担当者が病院や施設など詳しく紹介してくれたので選択しました。留学について資料や物の準備など、対応していただき安心できました。
愛全病院に入職し、最初はケアワーカーの業務をしていました。あまりストレスはありませんでしたが、ストレスがあった時は、職場の仲間と食事や温泉に行ったりして気分転換をすることができて助かりました。

3. 仕事をして嬉しかったこと

患者さんに名前を覚えてもらえたことが嬉しかったです。
指導者に技術を認められたことが嬉しく、褒められると頑張ろうと思います。



指導者と一緒



4. 愛全病院に勤めてichibanよかったこと

先輩がいいです。
病院が近いので、通勤に時間がかからないです。
困った事があれば、病棟や人事部の人がアドバイスや対策を考えてくれます。
入院・手術を経験し、とても怖かったのですが、病棟も人事部の人も良くしてくれ、安心できました。

5. 愛全病院で一緒に働きましょう

愛全病院は、優しい先輩がいるのでお勧めです。